

# やまなし 県議会 だより



県内最大のイベントである信玄公祭りに、おもてなしブース・武将写真ブース・野点ブース等からなる「県議会おもてなしサロン」を設営し、観光客との交流や県産品の魅力発信を行うとともに、議事堂正面のステージでのセレモニーや音楽演奏により、多くの観光客をもてなしました。

## 二月定例会の概要

県議会は、平成二十九年二月定例会を二月十七日から三月二十三日までの三十五日間の日程で開きました。

開会日の提案理由説明で後藤斎知事は、少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少を踏まえ、働き盛りの世代、子育て中の女性や高齢者など全ての人々が、やりがいや充実感を感じ、仕事と生活の調和を図りつつ、長期間にわたり働くことができる環境整備に向け、働き方改革を積極的に推進していく考えを示されました。

また、リニア中央新幹線の開業効果を全県に波及させるためには、これまでに以上に関係部局が連携して組織横断的に取り組む必要があることから、総合政策部内に指令塔となる組織を設置し、今後は、新たな組織体制の中で総合球技場の建設場所を早期に決定する



多くの来訪者でにぎわうおもてなしブース

とともに、リニア駅周辺の機能などについても、具体化に向けた検討を進めていく方針を明らかにされました。

さらに、平成二十九年当初予算の編成に当たっては、「輝き あんしん プラチナ社会」の実現に向けた取り組みを、一層加速させるための一年と位置づけ、予算計上したことを強調されました。

知事の説明を受けて、二月二十四日、二十七日、二十八日、三月一日の四日間、代表・一般質問を行いました。代表質問には自民党誠心会の前島茂松氏、白井成夫氏、チームやまなしの久保田松幸氏が登壇。一般質問には、石井脩徳、大柴邦彦、山田一功、塩澤浩、桜本広樹、猪股尚彦、宮本秀憲（いずれも自民党誠心会）、早川浩、水岸富美男（いずれもチームやまなし）、山田七穂（リベラルやまなし）、安本美紀（公明党）、小越智子（日本共産党）の各氏が登壇しました。（詳細は二〇四面）

また、会期中に予算特別委員会を開き、当初予算案の審査を行いました。三月七日、八日には、総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会を開き、予算特別委員会から調査依頼があった議案や付託議案、所管事項の審査を行いました。

定例会最終日の三月二十三日には、山梨県議会基本条例案や総額四千六百四億三千八百四千万円の一般会計当初予算案など四十三案件を可決、同意しました。

また、各常任委員会の任期満了に伴い、議長が新委員を指名し、各委員会で新しい正副委員長を選任しました。

## 県議会 トピックス

### 山梨県議会 基本条例を制定

山梨県議会の基本理念を明らかにし、議会の役割及び運営原則、議員の責務及び役割などを定めた「山梨県議会基本条例」が、2月定例会において可決されました。昨年10月以降、議員10人からなる「山梨県議会基本条例案検討委員会」での会議に加え、県民の皆様からの意見聴取会、パブリックコメントを経て、条例案を作成しました。皆様からは貴重なご意見等をいただき、感謝申し上げます。条例について、詳しくはホームページをご覧ください。

### 子育て支援について意見交換

子育て支援に関する条例案作成委員会では、子育て支援センター等の現状や利用者の意見を把握するために、2月14日と15日に県内4箇所の子育て支援センター等を訪問し、利用者の皆様と意見交換を行いました。





# 2月定例会本会議 の質問と答弁から

## 県政指針

明年度当初予算編成方針と今後の財政運営

**問** どのような施策・事業に重点化を図るのか。

**答** ダイナミックやまなし総合計画の実現に資する施策は、厳しい財政状況にあっても、積極的に予算計上し、最重要

## 警察

ドメスティックバイオレンス及びストーカー等の人身の安全を脅かす事案への取り組み

**問** どのように取り組んでいくのか。

**答** 初期段階から警察本部が積極的に介入し、被害者の安全確保を最優先とした対応をとっており、具体的な対策としては、経

課題である人口減少対策では、若年層の県外転出に歯どめをかける施策を初めとした、移住・定住を促進する施策を強化していく。

また、子供を安心して預けることのできる保育環境の整備など、「日本一健やかに子どもを育むやまなし」に向けて、子育て支援の一層の充実を図っていく。

さらに、地域経済の発展に向けて、全国トップレベルの企業立地支援制度を拡充するなど、積極的に取り組んで行く。

## 防災

地域防災力の強化に向けた女性の参画促進

経済的な理由で避難をちゅうちよしている場合に、宿泊費用を公費で負担する制度の運用のほか、緊急時にワタツチで一一〇番通報ができる位置情報発信装置の増設といった保護対策を強化している。

また、警察組織が一体となり取り組むとともに、女性相談所や市町村等、関係機関、団体との連携をさらに強化し、被害者の安全を最優先に、万全を期していく。



全国女性消防操法大会における県内女性消防隊の様子

**問** どのように取り組んでいくのか。

**答** 地域防災リーダー養成講座への参加を促進しており、平成十七年度の講座開設から現在までに、三百二十二人の女性が受講し地域防災のリーダーとして活躍している。

また、避難所の運営支援などにも女性消防団員の活躍が期待されていることから、消防女子の活躍推進セミナーの開催などにより加入促進を図った

## リニア

リニア中央新幹線

**問** 県の環境基準の対象範囲に暮らす住民の人数や学校等の施設数及び防音フードを設置しない区間への見解は。

**答** リニアの走行音への対応は、沿線市町と協力しながら、新幹線鉄道騒音に係る環境基準を適用する地域の指定に向け、作業を進め

## 教育

子供の貧困対策

**問** 「子どもの貧困対策推進協議会」の設置目的と構成員は。

**答** 本協議会は、子供の貧困対策を推進する

ているが、現時点では指定地域が未定のため、施設数などを示すことは困難である。

また、JR東海では、基準に適合するよう防音壁や防音防音フードの設置、個別家屋対策など総合的な騒音対策の検討を進めているところであり、また防音防音フードの設置箇所などは確定していない。

県では、引き続きJR東海に対し、地域の理解を得ながら適切な防音対策を実施するよう要請していく。

関係機関相互の連携を深め、ネットワーク化を図ることに

より、地域における課題の把握や、それぞれが実施している支援、また先進事例等の情報の共有化を進めるなど効果的な貧困対策を行うことを目的に、平成二十九年

度設置するものである。構成員については、県内の全ての市町村を初め、社会福祉協議会や民生委員など福祉関係の代表者、学校や幼稚園など教育関係の代表者、さらには、関

## 福祉保健

子宮頸がん予防ワクチンの副反応への対策

**問** 県独自の救済制度の仕組みや考え方は。

**答** 県の補助事業によりワクチンを接種した方で、予防接種との因果関係が否定できない健康被害であると認定された方に対し、国の制度等で救済が受けられない場合に、同様の助成が受けられる新たな県独自の救済制度を創設し、医療費と医療手当の給付を行う。

また、救済制度と県の相談窓口の情報を確実に伝えるため、県や国の補助事業によりワクチン接種を受けた約二万三千人全員に対

係する国の機関や学識経験者などに参加してもらうこととしている。

## 教員の多忙化

**問** 多忙化改善の取り組みは。

**答** 平成二十八年度策定した多忙化改善の取り組み方針に沿って、教員の意識改革、会議や研修の効率化など、学校現場の取り組みを推進していく。

また、中学校の教員に代わり、運動部活動の指導を行う顧問を任用する市町村等に助成する新たな制度を設け、教員の多忙化改善への支援をより一層充実させていく。

**答** 在宅医療・介護に関わるさまざまな人材が、これまで以上に緊密に連携していく必要があるため、平成二十九年度から、訪問看護ステーション等の看護職を対象に研修を行い、医療分野の多職種間の調整を行うトータルサポートマネジャーとして養成していく。

## 在宅医療提供体制の充実・強化

**問** どのように取り組んでいくのか。

また、在宅療養者が必要とする時にサービスを提供できるように、新たに参入を希望する事業所に対して、アドバイザーの派遣等を行うことにより、二十四時間体制で訪問介護と訪問看護を一体的に提供する介護事業所の増加を図っていく。



住み慣れた地域で安心した生活を送るために重要性の増す訪問診療や訪問看護



# 観光



文化財や古民家等を活用した観光客の受け入れと観光消費額拡大

**問** どのように取り組んでいくのか。

**答** 文化財等を活用した観光客の受け入れについては、神社仏閣を紹介する多言語冊子の作成や、峡南地域の歴史文化ツーリズム構想策定などの取り組みを進め、国が設置した官民連携組織による支援の方向性を見

きわめながら推進していく。

観光消費額拡大については、やまなし観光推進機構をDMOとして整備し、新たにツーリズムビジネス活性化センターを設置することとした。センターでは、市場データの分析に基づく着地型旅行商品の造成や戦略的なプロモーション活動などに取り組み、観光消費額の拡大を図っていく。

# 道路



富士北麓地域における電線類の地中化

**問** どのように取り組んでいくのか。

**答** 県と国では、富士山の景観保全の観点から、富士北麓地域における電線類の地中化に重点的に



電線類地中化後のイメージ

取り組んでおり、これまでに約二十四キロメートルの整備を完了した。

平成二十七年に策定した社会資本整備重点計画では、東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、平成三十一年度までに約三十二キロメートルを、リニア中央新幹線開業の平成三十九年度までに、約七十五キロメートルを整備することとしている。

これにより、富士北麓地域の景観保全において電線類を地中化すべき幹線道路については、整備が概ね完了する予定である。

# 林業



林業の効率的な施業を担う人材の育成への取り組み

**問** どのように取り組んでいるのか。

**答** 効率的な林業経営を行うには、民有林の施業の集約化や現場作業の効率化を図る必要がある。また、その推進には、高度な技術や知識を有する人材育成が重要である。

このため、施業の集約化については、森林組合に対して、

**問** 今後の展開は。

**答** 本戦略では、さまざまな主体による育水の推進と、山梨の水の魅力の積極的な発信を両輪として展開し、水ブランドの確立を目指すこととしている。

し、その中核を担う森林施業プランナーの配置を働きかけるとともに、作業道の適切な設置等の研修を実施するなど、プランナーの育成に努めている。

また、作業の効率化については、集材用の架線設置等の研修や、高性能林業機械の運転資格の取得支援など、林業従事者の技術の高度化を図っている。

# 水資源



やまなし「水」ブランド戦略の推進

まず、育水の推進については、県民大会の開催などこれまでの取り組みに加え、県内大学や民間団体などによる、水をテーマとしたすぐれた研究に対し助成を行う。

# 産業



IoT等の活用促進

**問** 現在の取り組みと今後の活用促進は。

**答** 平成二十八年度にプロジェクトチームを設置し、IoT等の新たな技術の活用に関する調査研究を行うとともに、本年一月には、市町村職員や民間事業者などを対象にしたIoT等の利活用に向けた解説書を作成・公表した。

また、昨年十月に庁内関係課と大学コンソーシアムやまなし、やまなし産業支援機構をメンバーとする研究会を設置し、IoT等の活用

に関する検討を進めている。

今後は、研究会に産業界の関係者を新たに加え、IoTの活用事例などの講演会や、ものづくり中小企業等を対象に、基礎から応用まで体系的・実践的に学ぶセミナーを実施していく。

工業団地を整備する市町村への支援策

**問** どのように取り組んでいくのか。

**答** 県では、市町村の工業団地の整備に必要な基礎調査費用を補助し、入居企業選定の際に助言等を行うスーパーバイザーを市町村へ派遣していく。

また、事業用地としての優位性が高い整備計画に

は、基盤整備費用を補助するとともに、金融機関などから立地企業の有力情報を集めるためのインセンティブの仕組みや、整備に伴う借入金の子利を助成する制度を創設する。

こうした取り組みにより、市町村の財政負担を軽減し、土地利用調整等専門的な知識が必要となる業務をサポートするなど、市町村と密接に連携して、工業団地の整備を促進していく。

**問** 新魚の生産体制の確立とブランド化への取り組みは。

**答** 生産体制を早期に確立するため、水産技術センターにおいて、県内養殖業者に供給する受精卵の安定生産と、新魚の特徴である味のよさや脂ののりを二層引き出す飼料の研究

開発等に取り組んでいく。また、県内養殖業者に受精卵を提供し、養殖技術の現地実証を行い、東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成三十二年の初出荷を目指していく。

さらに、ブランド化に向けて、名称の公募や試食会などを通じて、新魚の魅力を多くの方々に発信し、養殖業者、流通関係者などと連携しながら、今後の販売戦略を構築していく。

※新魚：飼育が難しいが、大型で非常においしいキングサーモンと、飼育がしやすいニジマスと掛け合わせた魚

# 水産業



県産新魚の開発など水産業振興



日本で初めて開発に成功したキングサーモンとニジマスを掛け合わせた新魚

- 可決・同意された主な議案
  - 山梨県議会基本条例制定の件
  - 調停及び権利放棄の件
  - 平成二十八年度山梨県一般会計補正予算
  - 山梨県の事務処理の特例に関する条例改正の件
  - 山梨県個人情報保護条例等改正の件
  - 山梨県特別会計設置条例改正の件
  - 山梨県手数料条例改正の件
  - 山梨県市町村振興資金条例改正の件
  - 山梨県消費生活条例改正の件
  - 山梨県児童福祉施設に関する基準を定める条例改正の件
  - 山梨県工業技術センター諸収入条例改正の件
  - 平成二十九年山梨県一般会計予算
- 可決された意見書
  - 山梨県副知事の選任の件
  - 山梨県教育委員会の任命の件
  - 山梨県監査委員の選任の件
  - 介護福祉士の養成教育に対する支援を求める意見書
  - 参議院議員選挙における合区の解消を求める意見書
  - 高齢運転者による交通事故防止対策の推進を求める意見書
  - 採択された請願
    - 修学資金貸付制度の拡充・強化並びに介護福祉士養成に係る離職者訓練(委託訓練)制度の継続実施等介護福祉士養成教育に対する支援を求める意見書の提出に関する事



代表質問



前島茂松  
自民党誠心会

● 明年度当初予算編成方針と今後の財政運営  
● 人口減少対策  
● 移住施策の推進  
● 子育て支援の充実  
● 働き方改革に対する県内企業への支援

● 女性の活躍推進の取り組み  
● 熊本地震等を踏まえた本県の防災体制の強化  
● 産業人材の育成  
● 果樹農業の振興  
● リニア開業を見据えた交通網の整備  
● 総合球技場の整備



白井成夫  
自民党誠心会

● 厳しい県財政の打開に資するための方策  
● 小規模県山梨の将来を展望した広域連合  
● 本県経済の回復に貢献できる公共事業  
● 県人口減少と少子化対策  
● リニア開業に備え経済効果を図るための駅周辺開発とアクセス道路の整備  
● JR中央線の利便性の向上及び高速化  
● 地域医療・福祉の充実強化策  
● やまなしブランドのさらなる向上と産地の活性化

● 県一JA構想の推進と本県農業の競争力強化  
● 事前防災・減災の推進と老朽化対策  
● 文化財や古民家等を活用した観光客の受入と観光消費額拡大  
● I-R推進による世界的視野に立った観光振興  
● 私立高校等の授業料の減免及び私立学校の経営支援  
● 子どもの貧困対策としての高校等入学時の負担軽減  
● 交通事故抑止に資する交通安全施設の整備強化  
● 山梨県にふさわしい総合球技場の整備  
● 甲府市の懸案事項



久保田松幸  
チームやまなし

● 平成二十九年度当初予算編成の基本的な考え方  
● ダイナミックなやまなし総合計画  
● 人口減少対策における転出抑制の取り組み  
● マイナビ制度における情報連携の推進  
● 携への対応状況と特定個人情報保護対策  
● 子宮頸がん予防ワクチンの副反応

● への対策  
● ひきこもり対策  
● 長時間労働の是正  
● 農業分野における地中熱の利活用  
● 今後の県の産業廃棄物行政  
● 若手捕獲従事者の確保育成  
● 県立射撃場のあり方  
● 防災体制の強化  
● 教員のメンタルヘルス対策

一般質問



石井脩徳  
自民党誠心会

● 在宅医療提供体制の充実・強化  
● 農福連携による障害者就労の促進  
● 森林保全と県産材の需要拡大の取り組み  
● クリーンエネルギーの普及促進  
● 都市農村交流の推進  
● ニホンジカのジビエとしての有効活用  
● 県東部地域の道路整備  
● 中高一貫教育の取り組み



早川浩  
チームやまなし

● 富士山の効用性ある冬山対策  
● 富士北麓地域における電線類の地中化  
● 医療機器関連産業の振興の加速化  
● 織物産業の振興策拡大  
● 研究開発拠点・富士工業技術センター事前合宿等の誘致を契機とした富士北麓公園の改修  
● 東京オリンピック・パラリンピックの機会を捉えた国際戦略の取り組み  
● やまなし医療ネットの国際対応の推進  
● スポーツコミッション等による観光振興



大柴邦彦  
自民党誠心会

● IOT等の活用促進  
● GAPの推進  
● おもてなしの推進  
● 県道横手日野春停車場線、駒城橋の整備  
● 北杜市須玉町地内の産業廃棄物不適正処理  
● 高齢者の交通事故防止対策



水岸富美男  
チームやまなし

● 大規模地震の発生に備えた受援計画の策定  
● 肝炎対策  
● 都留市立病院の分岐再開に向けた支援  
● 市町村による工業団地の整備  
● 産業の効率的な施業を担う人材の育成への取り組み  
● 生涯活躍のまち構想



山田一功  
自民党誠心会

● 県道高畑谷村停車場線、宝バイパスの整備  
● 運動部活動の指導の充実  
● 県産新魚の開発など水産業振興  
● リニア環境未来都市  
● 海外におけるトップセールスの展開  
● 新たな蓄電システムの取り組み



山田七穂  
リベラル  
やまなし

● ボランティア活動推進の取り組み  
● 子どもの心のケアに係る総合拠点の整備  
● やまなし「水」ブランド戦略の推進  
● 活性化に取り組み県内商店街への支援  
● 山岳観光推進のための施設整備  
● 小中学校の不登校児童生徒への支援  
● 義務教育期間にある入院中の児童生徒に対する教育  
● 非崎警察署の移転に伴う非崎市民の安全・安心の確保



塩澤浩  
自民党誠心会

● リニア環境未来都市の土地利用  
● 家庭における介護の担い手への支援  
● 糖尿病の重症化予防のための医療連携  
● 忠清北道姉妹締結二十五周年交流事業  
● 昭和町における県道甲府市川三郷線の歩道整備  
● おもてなしの推進  
● 県管住宅のバリアフリー化  
● ドメスティックバイオレンス及びストーカー等の人身の安全を脅かす事案への取り組み



安本美紀  
公明党

● 子どもの貧困対策  
● 発達障害の早期発見  
● ヘルプカード等の導入  
● 産婦健康診査と新生児聴覚検査  
● 女性に対するあらゆる暴力の根絶  
● 東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを活用した文芸芸術の振興



桜本広樹  
自民党誠心会

● 南アルプス市内の砂防事業  
● 早川安達連絡道路に繋がる芦安側  
● 県管理道路の計画的な舗装修繕  
● 工業団地を整備する市町村への支援策  
● 県立産業技術短期大学校における  
● 県産人材の育成  
● 峡中エリアの観光振興ビジョン  
● 外国人観光客による県産農産物の地産消費  
● 放課後子供教室の充実による学力向上に向けた取り組み  
● 市町村振興資金を活用したリニア沿線市町村への支援  
● リニア駅周辺整備とリニア駅舎整備との連携  
● 総合球技場のリニア駅前への整備



小越智子  
日本共産党

● 知事の政治姿勢  
● 子どもの貧困対策  
● 保育  
● 重度心身障害者医療費助成制度  
● 働き方改革  
● リニア中央新幹線  
● 総合球技場  
● 道路の区画線、横断歩道などの道路標示  
● 事業用太陽光パネル  
● フラッシュシティ甲府の高度化資金  
● 県幹部職員の再就職先



猪股尚彦  
自民党誠心会

● 県内中小企業・小規模企業の振興  
● 市町村の地域包括ケアシステム構築への支援  
● 地域防犯力の強化に向けた女性の参画促進  
● 担い手への農地集積  
● 都市計画道路田富町敷島線の整備  
● 山梨県地球温暖化対策実行計画に基づき取り組みの推進



宮本秀憲  
自民党誠心会

● 県立学校におけるITを活用した教育の推進  
● 教員の多忙化  
● 信玄公生誕五百年と信玄公祭り  
● 外国人観光客の誘致  
● アジアの外資系企業誘致  
● 正社員雇用拡大  
● 水素エネルギー社会の実現に向けたロードマップ

山梨県議会役員名

(平成二十九年三月)

議長	副議長	議員	定数
鈴木 幹夫	高木 晴雄		
委員会名	正副委員長	委員	
議会運営	中村 正則 久保田松幸	白井 成夫 白壁 賢一 土橋 亨	10
総務	遠藤 浩 宮本 秀憲	白井 成夫 早川 浩 小越 智子	10
教育厚生	望月 利樹 奥山 弘昌	皆川 巖 桜本 広樹 安本 美紀	9
農政産業観光	久保田松幸 猪股 尚彦	中村 正則 塩澤 浩 土橋 亨	10
土木森林環境	飯島 修 渡辺 淳也	前島 茂松 山田 一功 佐藤 茂樹	9



予算特別委員会

委員長 白壁 賢一

予算特別委員会では、平成二十九年当初予算について、各常任委員長から部局別予算審査の報告を受け、三月十七日、二十一日に総括審査を行い、「原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な質疑と答弁は次のとおりです。」

県産酒アジア販路開拓  
トップセールス事業費

問 これまで知事は、シンガポールやマレーシアにおいてトップセールスを行い県産酒の販路拡大を進めてきたが、平成二十九年度については、ベトナムと台湾において、酒類業者などへのトップセールスを行うこととしている。ベトナムと台湾で実施する趣旨、意図はどのようなものか。

答 ベトナムでは、酒類の消費量が大きく伸びており、県産の日本酒も平成二十七年には、前年に比べ約二倍の出荷量に増加する一方、ワインについては、日本からの輸入は、ほとんど行われていない現状を踏まえ、トップセールスにより、県産日本酒の定着とワインの新規販路開拓を図ってみたい。

また、台湾は、我が国にとってアメリカや韓国に次ぐ酒類の輸出先であり、県産酒にとっても重要な市場であることから、トップセールスを通じて、県産酒のさらなる市場拡大を目指していく。

【その他の主な質問事項】

- ・地域創生連携会議設置費
- ・やまびこ支援学校建設事業費
- ・「リニア環境未来都市」整備事業費
- ・地域防犯力・避難所運営強化支援事業費
- ・私立小中学校授業料支援実証事業費
- ・定期巡回・随時対応サービス普及促進事業費

予算特別委員会委員名	委員長	白壁 賢一	副委員長	水岸富美男
前島 茂松	白井 成夫		河西 敏郎	大柴 邦彦
永井 学	杉山 肇	猪股 尚彦	奥山 弘昌	早川 浩
飯島 修	清水喜美男	山田 七穂	安本 美紀	